

目次

01 はじめに P.4

02 東京iCDCの概要 P.6

- ・東京iCDC専門家ボードメンバー一覧
- ・東京iCDCの体制図

03 東京iCDC立ち上げ P.9

- ・東京iCDC立ち上げの経緯
- ・専門家ボードとタスクフォースの設置

04 東京iCDCの主な取組（一覧） P.15

- ・令和2年度から5年度までの主な取組
- ・東京iCDCによる東京都モニタリング会議報告事項(一覧)

05 【参考】東京都の対策 P.23

- ・第1波から第8波までの取組
- ・世界各国の感染状況

06 各チーム、タスクフォースの主な取組 . . . P.29

- ・東京iCDCが行った新型コロナに係る調査・分析、情報発信等

07 感染対策支援チームの設置と取組 P.103

- ・クラスターが発生した高齢者施設等の感染対策を支援する「感染対策支援チーム」の取組

08 東京iCDCによる海外発信 P.107

- ・東京iCDCの取組の海外への発信及びネットワーク構築に向けた取組

09 まとめ P.111

- ・東京iCDCの新型コロナへの対応の振り返りと今後の取組について

10 リンク集、索引 P.117

● 感染対策支援チーム

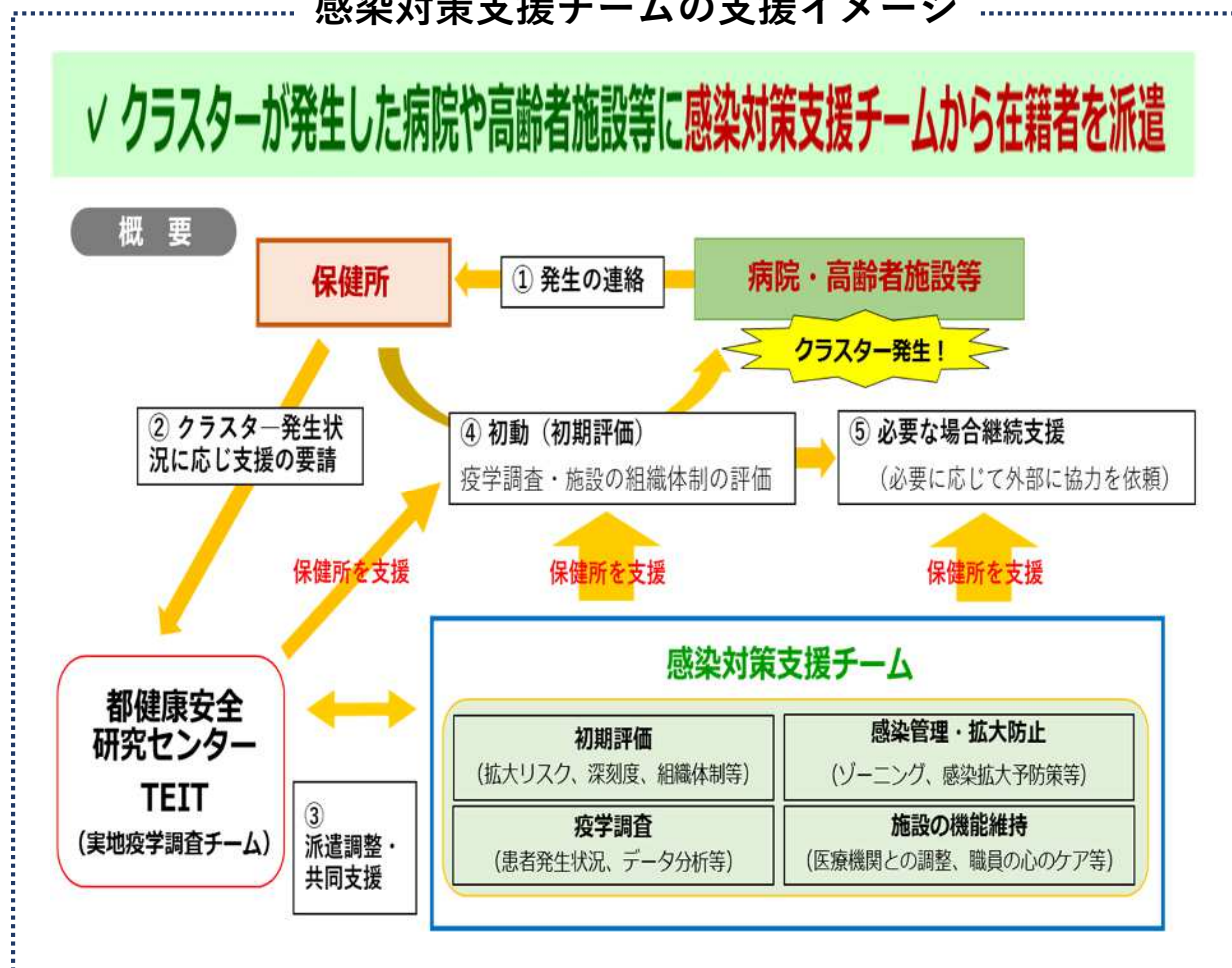
新型コロナの第1波では、院内感染の発見や対応の遅れなどにより、多くの病院で大きなクラスターが発生した。そのため、都は、保健所、東京都健康安全研究センターと連携し、現場に赴くなどして**院内感染対策を支援する「感染対策支援チーム」**を令和2年10月に設置した。

「感染対策支援チーム」は、都内の医療機関などに勤務する医師及び看護師などで構成（※）。

保健所からの派遣要請に応じてチームを派遣し、**ゾーニングや個人防護具（PPE）の着脱など、感染対策に関する指導を行い病院や施設内の感染拡大防止を支援**。これまで、病院や高齢者施設等の社会福祉施設、保育所等を対象に支援を実施。

※ FETP(国立感染症研究所の实地疫学専門家養成コース)の出身者、感染管理認定看護師、DMAT(災害派遣医療チーム)など

感染対策支援チームの支援イメージ



● 感染対策支援チームの支援実績

令和4年度（2022年度）からは保育所等への支援も開始

令和5年（2023年）5月7日時点で、**414の施設**に対して支援（延べ**918回**実施）

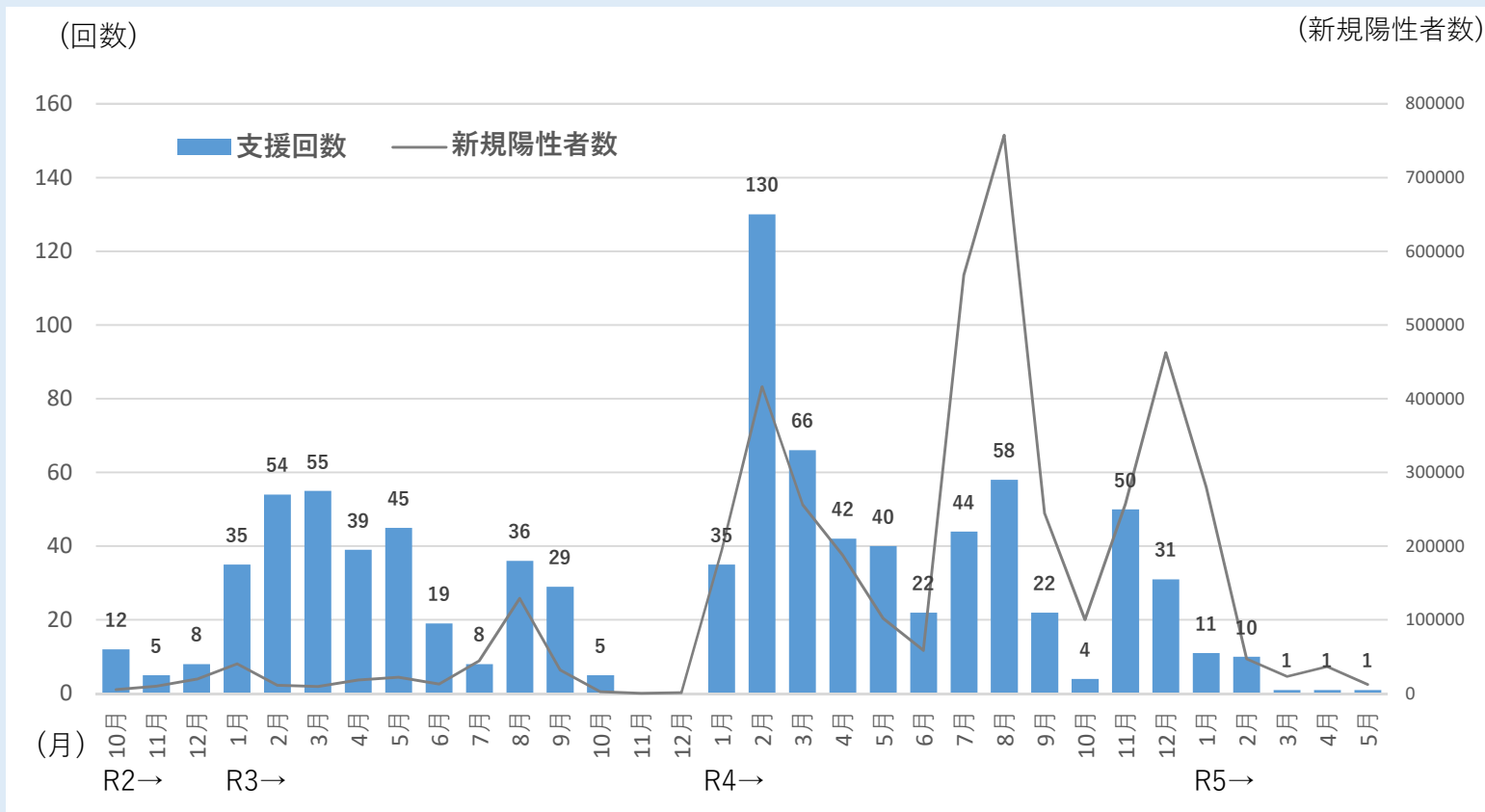
< 感染対策支援チームの実績（令和2年（2020年）10月1日～令和5年（2023年）5月7日） >

● 支援施設数 ⇒ **414施設**

医療機関	167
高齢者施設等	228
保育所等	19

※医療機関には、新型コロナ以外の実績（2施設）も含まれる。

● 支援回数 ⇒ **918回** ※1施設当たり複数回実施



※R5年（2023年）5月の感染者数は5/8報告分までの合計

● 大学研究者による事業提案制度 (※)

東京医科歯科大学と連携し、これまで感染対策支援チームが支援してきた施設等におけるクラスター事例等を分析。事例に基づく教育資材の開発とともに、講習会等の開催を通じて、地域の感染症対応力の向上に活用している。令和4年度（2022年度）より調査・分析を開始し、令和5年度（2023年度）以降、講習会等を実施している。

(※) 東京都が、都内大学研究者から、研究成果・研究課題等を踏まえた事業提案を募集し、研究者・大学と連携・協働して事業を創出することを目的として、平成30年度(令和元年度予算編成)から実施している事業(本事業は令和3年度に採択、令和4年度に事業化)
<https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/zaisei/teian/4daigaku.html>

< 中小病院におけるポストコロナ時代の感染症健康危機への対応能力強化事業 (イメージ) >

